全国模擬授業大会２０２６ in 名古屋　結果報告



２０２６年１０月２５日（日）、名古屋中学校・高等学校にて、野田塾主催の全国模擬授業大会 in 名古屋、が開催されました。今年からルールが大幅に変更され、団体戦がなくなり、個人戦のみとなりました。また、科目別の形式ではなく、科目混合型で予選（各グループ２～３名通過）→準決勝（各グループ１名通過）→決勝、という形式に変更されました。津駅前校スタッフ同士でぶつかる可能性もある仕組みであったので、なるべくそれは避けたいという思いでしたが、幸い予選から津駅前校スタッフ同士がぶつかることはなく、準決勝以降も結果としては津駅前校スタッフ同士がぶつかることはありませんでした。
予選Ｃブロックに入った横山は、理科の「台風のしくみ」で勝負しましたが、のちの決勝進出者が２名いる激戦のブロックだったこともあり、３名の通過枠に入れず、惜しくも予選敗退となりました。予選Ｄブロックに入った渡辺は、国語の「連体詞」で勝負しましたが、３名の通過枠に入れず、惜しくも予選敗退となりました。予選Ｇグループに入った国武は、英語の「It　is…(for　人)to～.構文」で勝負しましたが、２名の通過枠に入れず、惜しくも予選敗退となりました。

そんな中、予選Ａブロックの石井は国語の「古文の時間」で勝負し、見事に予選１位で昨年に続き準決勝進出となりました。予選Ｂブロックの松藤は理科の「電流回路」で勝負し、のちの決勝進出者が２名いる激戦のブロックで、見事その２名に次ぐ３位で自身初の予選突破、準決勝進出となりました。予選Ｅブロックの鎌井は算数の「三角定規」で勝負し、３位で昨年に続く予選突破、準決勝進出となりました。予選Ｆブロックの稲垣は社会の「景気」で勝負し、のちの準グランドチャンピオンを倒し、予選１位で昨年に続き準決勝進出となりました。

その後の準決勝では松藤が数学の「合同式」で勝負し、板書のきれいさや雰囲気の良さが高く評価されたものの、惜しくも２位で準決勝敗退となりました。また、鎌井は数学の「立体の見え方」で勝負し、文系の先生からもわかりやすいと高く評価されたものの、惜しくも２位で準決勝敗退となりました。また、稲垣は歴代グランドチャンピオンが２名いる激戦の準決勝で社会の「平等権」で勝負し、飽きさせない話術で引き込まれる授業と高く評価されたものの、惜しくも２位で準決勝敗退となりました。





そんな中石井は英語の「原級の否定文」で勝負し、発問のテンポの良さや生徒とのやり取りの上手さが高く評価され、見事昨年に続き決勝進出となりました。唯一決勝に進出した石井は授業順で６人中６番を引き当て、いい流れの中、予選と同じ国語の「古文の時間」で再度勝負し、「正午」「丑三つ時」「桃太郎」など、だれもが聞いたことのあるような言葉をもとに、難解な「古文の時間」を楽しく解説し、見事２３票中８票獲得でグランドチャンピオン（塾講師日本一）に輝きました！これで、eisu 津駅前校は昨年の理科の稲垣に続き大会２連覇！社会・理科・国語の３科目でグランドチャンピオンを獲得しました！
あとは、英語と数学だけ！残りの２科目も獲得を狙い、これからもスタッフ一同、現場での１回１回の授業を大切に、日々授業力・指導力が向上するよう、努力を続けてまいります。